

決算審査特別委員会視察報告書

【令和2年10月14日】

視察日 令和2年10月12日（月）

視察地及び班編成

第1班

- ・視察地 バリアフリーの道づくり（区道第901号外）／PCR検査センター／自転車走行空間
- ・班長 浅川 のぼる 委員
- ・班員 上田 ゆきこ 委員、海津 敦子 委員、山本 一仁 委員、岡崎 義顕 副議長

第2班

- ・視察地 備蓄物資整備（教育センター）／PCR検査センター
- ・班長 松平 雄一郎 委員、田中 和子 委員
- ・班員 松丸 昌史 副委員長、松下 純子 委員、国府田 久美子 委員

第3班

- ・視察地 誠之第二育成室／PCR検査センター
- ・班長 のぐち けんたろう 委員
- ・班員 品田 ひでこ 委員長、宮野 ゆみこ 委員、小林 れい子 委員、田中 としかね 委員

第4班

- ・視察地 公園再整備事業（六義公園）／PCR検査センター
- ・班長 宮本 伸一 委員
- ・班員 金子 てるよし 委員、市村 やすとし 委員、西村 修 委員、海老澤 敬子 議長

視察報告内容

第1班

1 バリアフリーの道づくり（区道第901号外）

バリアフリーの道づくりを視察した。整備工事を行った場所は、区立第一中学校と竹早公園に挟まれた区道で、春日通りから千川通りまでを三区画に分けて、平成29年度から令和元年度にかけて行われた。工事に当たっては、バリアフリー基本構想に基づき進められた。その特徴として、マウントアップ155型（15cm段差）からセミフラット型（5cm段差）に改修（歩道勾配の解消）、視覚障害者誘導用シートの連続設置（国道・都道の連続性）、街きよ側溝幅50cmを25cmに改修（自転車ナビマーク・ナビラインの設置による自転車通行空間の整備）、車両の走行性向上のため排水性舗装に改修（水溜り解消、低騒音）、車道を1.0m以上縮小し、歩道を片側50cmずつ拡幅（歩道の有効幅員2.0mの確保）、バス停留所部においては、マウントアップ（15cm段差）で施工（バスのステップに高さを合わせた）、横断防止柵を兼ねた手すりの設置及び助け合いを促す看板の設置、スツール（お休み石）の設置などである。

全体の評価としては、安全で快適に通行できる道路整備がされたことを確認した。今後は、その他の残る特定道路のバリアフリー化を順次進められたい。

また、看板設置の位置が高いので、歩行者に見えにくいいため、今後は路面標示等で工夫されたい。なお、多様な方々が安全かつ安心して利用できる環境整備を、なお一層利用者目線で進められたい。

2 自転車走行空間

自転車走行空間の視察をした。整備工事を行った場所は、後楽公園から小石川後樂園を通り、外堀通りまで続く区道で、二区画に分けて、平成30年度から令和元年度にかけて行われた。工事に当たっては、国や東京都の補助を活用し、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた自転車推奨ルートに設定され、自転車走行空間の整備が行なわれた。整備内容は、車道混在型による自転車ナビマーク・ナビラインの設置（自転車通行空間の整備）、自転車の走行性向上のため、街きょ側溝幅50cmを5cmに改修（小型水路内蔵型街きょブロック使用）、自転車が歩道に退避できるよう、30mに1か所1.2mの乗入部を確保、マウントアップ155型（15cm段差）からセミフラット型（5cm段差）の改修（歩道勾配の解消）、樹木医診断に基づき、高木44本は残置し、根上がりがある34本は撤去後若木を新植（撤去した樹木はパーティクルボードとして再利用）、車道は遮熱性舗装、歩道は透水性・遮熱性を持つバリアフリーに対応したガタつきのない噛み合わせブロックで施工している。

自転車走行空間の整備が完了し、自転車が通行しやすくなったこと、また、歩道舗装の歩きやすさが確認できた。なお、車道幅員が狭いため、利用者には、退避場所の活用を周知されたい。併せて、都道を含めた自転車推奨ルートの安全については、駐停車による危険がないようにされたい。

第2班

1 備蓄物資整備（教育センター）

平成27年4月に教育センターオープンと同時に、33番目の避難所として開設された。竜岡会、湯島切通町会、両門町会、湯島北町会が利用する。避難スペースとして、b-labホール、2階研修室、3階多目的室を予定し、844人のスペースがあるが、4町会で449人の利用を想定している。

備蓄倉庫は教育センター内部からだけでなく外部からも出入りができる。内部の入口近くに、避難所開設キット、非接触型体温計や消毒液などすぐ使用するものを整備し、棚はマンホールトイレやおむつ類、食品類など、種別の分類がされ、棚からの落下を防ぐためベルトが用意されていた。毛布がかさばり場所を取っているが、順次、圧縮型に代えていく予定である。1日分の食品と便器用収納袋を備蓄しており、2日目、3日目については都から届く。4年に1回備蓄品の棚卸しを行う。新たにパーティション50張、多目的テント10張、授乳などプライベートテント3張、段ボールベットとエアーマットが備蓄または備蓄が予定されている。投光器はガスを使用し、24時間使用できる。今後は太陽光利用蓄電池を年度内に配備する。教育センター外部にはマンホールトイレ8基、かまどベンチ3基、9,000L（1,000人分3日間）蓄える受水槽が用意されていた。

避難スペースに余裕があり、新型コロナウイルス感染症対応の備蓄も行われている。今後は圧縮毛布やアレルギー食品を含む食品種類の充実とローリングストックの活用、安心かつ居心地のよい避難所としての存続を願う。

2 PCR検査センター

区内医師会の協力を得て、今年9月16日から後楽公園内に設置された区内6番目となるPCR検査センターである。プレハブ型建築物の周囲を高さ3mの鋼板で囲われ、検査場内部の様子は外部から見えないよう、被検査者へ配慮された施設となっている。また、検査センター内は、被検査者用のレッドゾーンと医療従事者用のグリーンゾーンとに分かれており、受付時と検査時を除いて、両者が接触しないように入出口等の動線や、使用するトイレも分かれており、センター内での感染防止対策も徹底している点は評価ができる。

検査対象者は完全予約制で行っており、月曜・水曜・金曜の週3日の午後1時30分から2時30分までの約1時間、概ね1日当たり20件程度の検査体制を整えているが、現在は1日当たり10名

未満が続いており、検査状況としては少し落ち着いて来ているとの事である。

プレハブ型建築物の内部に、水回りの設備がないため、医療従事者は建物外にある水道を使用しなければならず、庇等の雨天時の運用方法の改善や、また建物入口の階段や段差などのさらなるバリアフリー対応の検討を希望する。

公園利用者への配慮としては、仮設トイレが5台設置されている点は評価すると同時に、検査センター周囲を囲う鋼板の影響で、公園内の見通しが悪くなっているため、治安悪化防止の対応や、鋼板にイラスト等を描き、利用者や周辺住民が和めるような工夫を希望する。

第 3 班

1 誠之第二育成室

文京区子育て支援計画によると、育成室は令和5年度までに47箇所設置を目標とし現在は40室が運営されている。本年4月の育成室待機児童は30名で、地域偏在が生じて、特に千石地域の整備が急がれる。

今回は誠之第二育成室を視察した。同育成室は区立白山東児童館に隣接する区有地に建設され、誠之小学校改築完了の令和5年までのリース契約となっている。今年4月からは白山東児童館の工作室を利用し、7月に建物が完成してからは現地に移り保育している。設置費用は341万円の基本設計費のほか、総額9,691万8,910円、月間およそ207万9,000円となる。(株)セリオに運営委託され、正規3名非常勤2名の合計5名の職員体制で保育にあっている。

定員は40名のところ現在32名で1年生20名、2年生6名、3年生6名である。

入口に誰でもトイレを設置し、災害時等の利用も想定している。静養室やシャワールームも設けられている。

児童の入室時には検温し、保育室内は天井に扇風機が設置され換気を促している。一つのテーブルを2名で利用するなど感染症対策がしっかりされていることを確認した。

なお、館長の人員加配については、区内育成室全体のバランスを鑑みて増強を要望する。

第 4 班

1 公園再整備事業（六義公園）

六義公園（本駒込6-16）は、「文京区公園再整備基本計画」に基づき再整備が行われ、令和元年8月に開園した。

全体として樹木を整理して明るくなったことや、公園の中心に利用年代層に応じた複合遊具を2基配置することで、空間の広がりが生まれていることは評価できる。トイレは、耐震性を備えているほか、マンホールトイレ、かまど縁台などが整備されるなど、防災面の向上が図られている。芝生広場、じゃぶじゃぶ池、土あそび場などの六義公園の特徴ともいえる整備により、子どもの遊びの体験を広げている。また、防犯カメラ2基の設置により、安全・安心につながっていることも確認した。

今後の課題としては、芝生広場の天然芝は、冬芝の種をまくなどして通年利用ができるよう検討すべきである。土遊び場の活用は、「どろんこ遊び」ができることの周知を図るなど、来園者がいつでも活用できるよう改善すべきである。土遊び場のネットについては、使用方法等を再検討すべきである。デッキテラスは、より活用が進むよう改善すべきである。また、かまど縁台や防災トイレについては、区民参加の活用訓練などの必要性を感じた。

再整備後は、利用者が大きく伸びているとのことであり、再整備の成果を示している。今後も利用者の声を聞きながら、より良い公園整備に取り組んで頂きたい。